

## 7. 短報

### 1. 『臺灣舊版地形圖選録：東京大學総合研究博物館蔵近代亞洲地圖資料典蔵：臺灣篇』の刊行

台湾で外邦図研究をともに進めてきた東華大学の郭俊麟さん、南天書局の魏徳文さんらの編集した『臺灣舊版地形圖選録』が台北の國立臺灣大學圖書館より2013年1月に刊行された(A4判、xi+107p.)。主編は郭俊麟さん。

東京大学総合研究博物館蔵の外邦図のうち台湾に関するものの画像が、台湾大学に寄贈されたことは、すでに郭俊麟さんからうかがっており、本書はこれに関する報告と判断したが、順次みていくにつれてよく準備された解説であり、台湾の外邦図に関する必読文献である事が理解された。地図のそれぞれの種類の特色に関する解説に加え、小さいながら一点一点の画像と目録も添付されている。以下まず目次を示そう。

國立臺灣大學圖書館館長序 陳雪華

東京大学総合研究博物館館長序 西野嘉章

第1章 外邦圖的意義・典蔵與臺灣舊版地形 郭俊麟

第2章 《臺灣輯製二十萬分一圖》導讀 魏徳文

第3章 《臺灣假製二十萬分一圖》導讀 黃清琦

第4章 《二十萬分一臺灣蕃地圖》導讀 鄭安晞

第5図 日治時期臺灣《五萬分一地形圖》導讀 黃清琦

附録1 贈蔵地圖縮圖目録

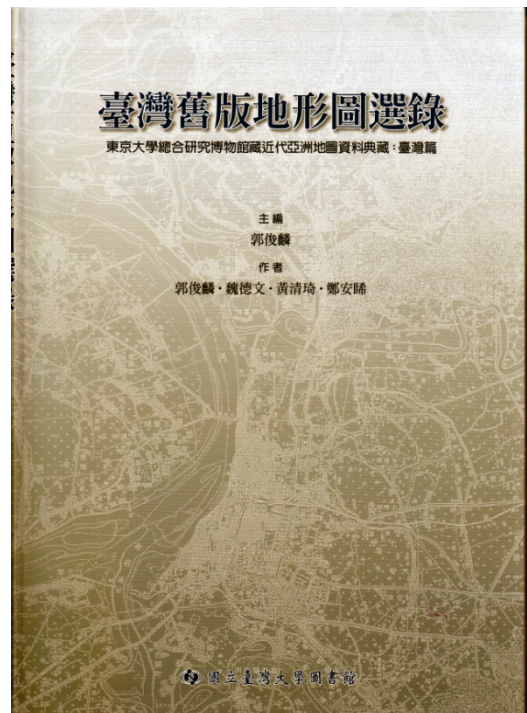
附録2 贈蔵地圖明細表

参考文献

本書の紹介する地図群(以下「本図群」という)の特色をよく示すのが、冒頭の郭論文で、外邦図および外邦図デジタルアーカイブの紹介につづき、本図群の特色を外邦図デジタルアーカイブで画像がみられるものと比較しつつ検討する。外邦図デジタルアーカイブに見られる50万分の1図を欠くが、20万分の1図では、それのない「輯製二十万分一図」(7図幅)や「台湾蕃地図」(5図幅)があること、また「假製二十万分一図」では刊行時期の違うものを含

むことなどが示される。また本図群では、多数ではないが、25図幅の台湾堡図(2万分の1)が含まれることも特色としてあげられる。

外邦図デジタルアーカイブが収録する図の多くが第二次世界大戦終結時に参謀本部にあった、比較的新しい図をもとにしているのに対し、本図群では、東京大学の多彩な部局で長期にわたって収集されたものが集成されているという、コレクション形成の過程の違いが、反映されているとみられる。



ここで解説されている各種の地図のうち、とくに問題になるのは、清水靖夫氏の台湾の地形図に関する先駆的研究(「台湾の諸地形図について」『近代日本の地図作製とアジア太平洋地域』清水2009所収)が触れていない「輯製二十万分一図」であろう。魏徳文さんによってその特色が多角的に論じられている。その元図がどのように調達されたかは興味深い問題であるが、図を印刷発行した台湾総督府製図部が、発足したばかりの台湾総督府のために陸軍(陸地測量部)から派遣された資材や人員によって運営されていたことがわかる資料があり(アジ歴資料、Ref. C06022468900, C06060607200)、その活動の一環と考えるべきと思われる。

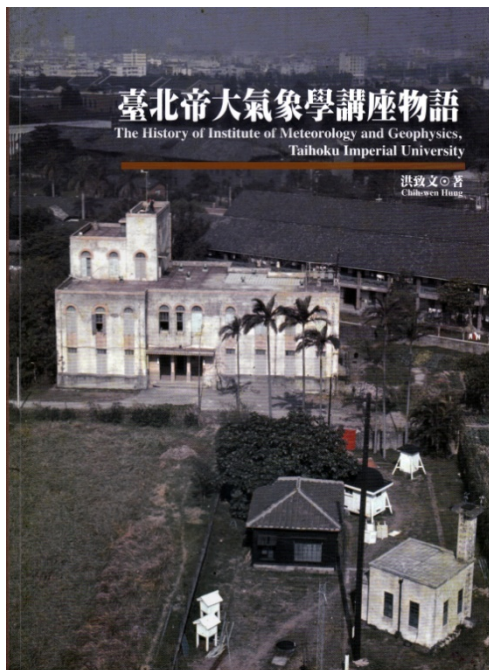
ともあれ、このようなかたちで外邦図研究の新しい

い研究のフロントが示されたことは、大きな刺激であり、この本面の研究の創始者である清水氏や施添福氏（中央研究員台湾史研究所）の出席を得た研究集会の開催が望まれる。

（小林茂）

## 2. 洪致文著『臺北帝大氣象學講座物語』の刊行

2013年8月のIGU京都地域大会会場で、著者の洪致文台湾師範大学副教授からいただいたのが本書である。私たちの研究では、アジア太平洋地域の地図・空中写真にくわえて気象観測データの集成をめざしており、植民地期の台湾における気象学研究に関する基礎資料となる書物として大きな関心を引かれた。



2013年1月、国立臺灣師範大學地理學系氣候實驗室の刊行である（B5判、65p.）。その主目的は、「前言」に示されているように、多方面に展開してきた白鳥勝義・小笠原和夫による植民地期の台北大学の気象学研究が第二次大戦後に充分継承されなかったことを反省し、その貢献を再評価しようとするところであり、以下が主要目次である。

### 前言

### 第一章 臺北帝大氣象學講座歴史

### 第二章 尋訪高雄海洋観測所

### 第三章 登覽阿里山高山観測所

### 第四章 重回臺北帝大氣象學教室

### 後記

### 参考文献

白鳥勝義教授著作選

小笠原和夫教授著作選

海洋観測や高山観測も視野に入れた総合的な研究教育機関として台北大学の気象学教室が構想され、運営されていたことが理解されるとともに、その遺産が私たちの研究に持つ可能性を本格的に検討する必要を感じさせる。また私たちと共通の関心を持つ研究者が少なくないことも感じられ、今後さらに洪致文氏らと交流を深めていきたい。

（小林茂）